

2016年林間聖会・分科会「恵みについて」

この分科会によるこそ

最初に、恵みの概念について簡単に学び、その後、自由なディスカッションの時間にします

■聖書の基本的な考え方である恵みとはどのようなことなのか？

- 1 十字架が土台、十字架は、とんでもない者が何もなかったという扱いを受ける「逆不条理」の出来事
「AだからB」(原因・結果論)という図式が崩壊 →神の国は「AにもかかわらずB」の原理
- 2 人間に原因がないのに(からこそ)神さまがしてくださる ~福音の本質→「恵みの原則」といいます！

発想の転換が必要！～メタノイア(悔い改め)

- 3 聖書の方向性 ~人間が、ではなく、神さまがわたしたちに何をしてくださるかを教えている書です

■この恵みのスイッチを入れましょう。入れ損なうと……

- 1 聖書が読みにくくなります。たとえば以下の記事ですが、よくわからなくなります
 - (1) ヤコブ ~なぜヤコブが神さまの祝福を受けるのか？
 - (2) ルツ ~ルツは旧約聖書の時代の異邦人なのになぜイエスさまの祖先に入るのか？
 - (3) ゴメル ~ゴメルをめとることを要求する神さまは神さまなのか？
 - (4) 十字架上の強盗 ~償いも、足を洗うこともできないのになぜパラダイスなのか？
- 2 信仰の成長とともに、「人より上にあがった」という思い違いをしてしまいます
恵みによる生活が「信仰道」になり、イエスさまの神の国と違うヒエラルキーができます
自分は聖められたと思うと、そうでない人を見下げるような気持ちに陥りやすくなります

■神さまがしてくださるなら、「信じる」とはどういうことですか？

- 1 ポーツとしていることではない ~おそらく真実に生きるでしょう！
- 2 信じることは人間のポイントにはならない ~信じて、ポイントをためることはできない
- 3 それでは信仰とは？

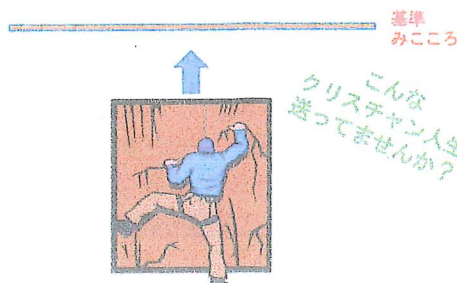
自分で自分を良くしようとするをやめ、神さまにさせていただくこと

- 4 恵みと「恵みの手段」 ~恵みをいただく手段であり、条件ではありません

恵みの手段を励行しても、だから恵みをくださいとは言えない！

■恵みに生きるために律法から解放されたいと思いますが、どういうことでしょうか？

- 1 人間はエデンの園以来、律法に縛られて生きている ~律法と結婚して生まれてくるようなもの
 - (1) 良い悪いを自分で判断する ~善悪の知識の木 「ものごとの判断を自分でする権利をゲット」
 - (2) 良い悪いで自分を判断する →自分の行動を改善し、少しでもましになろうと努力する



- 2 律法は欺く性質を持っている
律法は罪を教えるが矯正はしない、罪をかき回し(ロマ 5:20)、罪が働き始める →死へ(ロマ 7:9)
- 3 神さまからのオファーは仰天プラン ~律法と別れ、新しいパートナーをいただく
 - (1) 婚姻関係にありながら、他の人と関係を持てば姦淫 →律法主義は「靈的不倫」
 - (2) 聖書の原則では、婚姻関係の解消のためには、どちらか一方が死ぬ以外にない
だれが? →律法は死んでくれないので、自分が死ぬ以外にない
「このわたしもあの十字架で死んでしまった」 It is finished! →信仰
 - (3) イエスさまとの新しい婚姻関係 ~基準ではなく、人格的信頼と愛によって生きて行く人生
 - 1) 罪に定められることはありません(8:1)
 - 2) 子どもとして生き生きと生きる生き方にわたしたちを導いてくれます(8:15)
 - 3) 成長して変えられるのは「自分の」努力ではなく、「神さまの」プロセスです(8:23~24)
 - 4) 三位一体の神さまがやってくれるから、任せておけばよいということです(8:26~34)

■恵みに生きるとはどういうことですか?

- 1 神さまの基準に届こうとすることではない →律法主義に行く
- 2 神さまのために何かをすることではない →律法主義に行く
神さまに仕え、神さまのために生きることは大切 恵みの結果としてあり得ますが……
- 3 自分を成長させようという努力ではない ~聖めの信仰の思い違い!
救いは信仰のみ、聖めは「恵みの手段」に身を当てはめて頑張る!…とっていませんか?
- 4 悔い改めや再献身は、真実であっても恵みの生涯ではない ~聖会って何のためにある?
- 5 自分に死ぬ努力ではない ←聖めの信仰の思い違い!
わたしはまだ死んでいない? →実際「死ぬ」とは何を意味するのでしょうか?
やりたいことをやらないという意味であれば、その内容にもよりますが、とても不自由です!
自分の罪はあの十字架で2000年前にすで全部解決済み そうなんですな! →信仰
- 6 イエスさまがこのわたしを生かして下さる コロサイ 3:3
イエスさまのいのちがわたしの中で働いている
- 7 やっていただく意識に生きる(ロマ 8:28)
何もしないのではなく、おそらく見場は真実に生きるでしょう! しかし……
心のスタンスが違います! ~イエスさまがわたしのためにして下さる
自分で自分を立派にしようと頑張る必要がない
自分を監視し、自分の信仰を良くする努力をやめると、両手が空きます!
- 8 ありのまま、自分に正直であること ~必ずしも人に言う必要はありません!
自分の身の丈で生きる、主にゆだねた姿、これが「靈的」の意味!

■しめくりに

恵みのスイッチを入れましょう!
新しいパートナーであるイエスさまと共に生きる人生観へ
これがかかりいい! しかも振り返ると一番安全かもしれせん!

「出来たからよい、出来なかったからだめと、自分に〇×をつけないでもよい」
「過去を思い起こし、どのような罪があったかを今さら振り返らなくてもよい」
「あなたは自分で成長しようと頑張らなくてもよい」それはわたしがするから!